

## 要 旨

### 試験委託者

環境庁

### 表 題

1-クロロオクタンのオオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する繁殖阻害試験

### 試験番号

NMMP/E 9 8 / 3 0 6 0

### 試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No. 202「ミジンコ類、急性遊泳阻害試験および繁殖試験」（1984年4月採択）の改訂版であるガイドライン No. 211「オオミジンコ繁殖試験」（1997年4月提案）に準拠して実施した。

- 1) 被験物質 : 1-クロロオクタン
- 2) 暴露方法 : 半止水式（週に3回、試験液の全量を交換）
- 3) 供試生物 : オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4) 暴露期間 : 21 日間
- 5) 試験濃度 : 対照区、助剤対照区、0.07mg/L、0.12mg/L、0.21mg/L、0.38mg/L、  
0.69mg/L および1.24mg/L(設定濃度)  
(公比1.8、助剤 HCO-50、100mg/L)
- 6) 試験液量 : 1 容器（連）につき 80 mL
- 7) 連数 : 10 容器（連）／濃度区
- 8) 供試生物数 : 10 頭／濃度区（1 連につき 1 頭）
- 9) 試験水温 : 20±1℃
- 10) 照明 : 室内光、16 時間明／8 時間暗
- 11) 被験物質の分析 : パーシブトトラップ GC 法

## 結 果

### 1) 試験液中の被験物質濃度

実測濃度が設定濃度の±20%を外れたので結果の算出には実測濃度の時間加重平均値を用いた。

### 2) 21 日間の親ミジンコの半数 致死濃度 (LC50)

= 0.25mg/L (95%信頼区間 : 0.20mg/L~0.40mg/L)

### 3) 21 日間の 50% 繁殖阻害濃度 (ErC50)

= 0.11mg/L (95%信頼区間 : 0.10mg/L~0.12mg/L)

### 4) 21 日間の最大無作用濃度 (NOECr) = 0.073mg/L

### 5) 21 日間の最小作用濃度 (LOECr) = 0.17mg/L

(上記濃度は、実測濃度の時間加重平均値に基づく値)